

令和5年度適正化事業諮問委員会 議事録
(一般財団法人近畿貸切バス適正化センター)

1 日 時

令和6年3月13日(水) 14時58分～15時58分

2 場 所

大阪市北区堂島浜2丁目1-25
中央電気倶楽部 2階 213号室

3 議 題

(1) 議長選出

(2) 議事録署名人の選出

(3) 諮問書について

(4) 第1号議案

「令和6年度一般財団法人近畿貸切バス適正化センターの適正化事業に係る事業計画、収支予算及び資金計画」について

(5) 第2号議案

「令和6年度一般貸切旅客自動車運送事業者の負担金の額及び徴収方法」について

(6) 第3号議案

「答申書」(案)について

4 諮問委員総数6名のうち6名出席

(出席者)

会 長	梶元 政明
諮問委員長	西村 弘
諮問委員	寺西 保
同	阿辻 康雄
同	村上 宣人
同	青木 真美
同	西村 真

(順不同・敬称略)

(参考人)

近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 金澤 重之

(近畿運輸局) 2名

(事務局) 3名

5 会議概要

(1) 一般財団法人近畿貸切バス適正化センター榊元会長が挨拶を行った。

(2) 西村 弘 諮問委員長が挨拶を行った。

(3) 定足数の確認

本諮問委員会が適正化事業規程第17条及び適正化事業諮問委員会規程第6条第1項に規定する定足数を満たし成立していることを宣言。

(4) 議長の選任

適正化事業諮問委員会規程第3条の規定に基づき、西村 弘 諮問委員長が議長に選任された。

6 議事録署名人の選出

西村 弘 委員長が議長となり議案の審議に入り、適正化事業諮問委員会規程 第8条第2項に基づき議事録署名人の選出を行った。

議事録署名人 諮問委員長 西村 弘
諮問委員 阿辻 康雄

7 議案の審議状況及び議決結果

(第1号議案)「令和6年度の一般財団法人近畿貸切バス適正化センターの適正化事業に係る事業計画、収支予算及び資金計画」について

(第2号議案)「令和6年度の一般貸切旅客自動車運送事業者の負担金の額及び徴収方法」について

議長から第1号議案、第2号議案は関連性があるため一括して説明することとの求めに応じて、事務局から配付資料に基づき説明が行われた後、次のとおり、諮問委員からの質問・意見に対して事務局等から回答を行い、審議の結果、原案どおり全員一致で承認決議された。

(質問・意見)

4月から点呼の動画保存、運転者の労働時間等の改善、10月から貸切バスの適正運賃の問題、これらが大きく令和6年度関わってくるが、ここは巡回指導の45項目の中で特に重点的な見方をするのか。

(事務局)

今まで重点項目を定めていたが、もともと点呼は重要な項目としてとらえていたのでそこは変わらない。今後は45項目全て重点的な項目という考え方。

(質問・意見)

負担金の計算を経常費用5300万円ベースでされているが、この経常費用の中で貸倒の120万円は見込んでいるのか。それとも今後増えるのか。

(事務局)

貸倒損失として計上費用に含めている。6年度分溜まっていたので前回と3年度ずつに分けて処理して一旦ゼロにする。今後は結果が出ていれば毎年処理できるかたちにしたい。

(質問・意見)

センターの事業としてももちろん巡回指導がメインではあるが、苦情の処理というものもある。この実態はどうか。

(事務局)

あっても年に数件ほどである。今までそれほど深刻な内容はなく、お話を聞いてセンターから説明することで納得される場合がほとんどである。

(質問・意見)

逆に運輸局側に苦情が入ってセンターがいくような事はあるのか。

(事務局)

そういったことはない。

(議長)

ないほうがいいのですが、センターがそういう仕事を引き受けることになっているのですね。それにとまなう仕事が多くなってしまうとまた費用がかさんでしまうことにもなりかねない。そうならないことをのぞみます。

はじめたころは指導で4割程度も指摘事項が出ていて驚きましたが、だんだん少なくなっていくって、毎年指導員がまわられる中で、お互いに理解が深まったこういう指導の方がいいのではないかというご質問もあった。より良い安全安心のための指導の在り方について事業者側も意識をもたれている。質的に高まってきている印象を受けました。

(第3号議案)「答申書」(案)について

議長からの求めに応じて、事務局から配付資料に基づき説明が行われた後、原案どおり全員一致で承認決議された。

以上をもって議案の審議及び報告事項の報告を終了したので、15時58分、議長は閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は記名押印する。

令和6年3月13日

議事録署名人 諮問委員長 西村 弘

同 上 諮問委員 阿辻 康雄